

子どもたちも熱演を披露した



少し早い「メリークリスマス！」

◎クリスマスおはなし会

「クリスマスおはなし会」は12月21日、中央公民館・図書室で行われました。今年、小学生の子どもたちが絵本の世界を熱演。また、愛児園の渡邊眞智子さんによるエプロンシアターでは、子どもたちが一緒に「大きなカブ」を引く張るなど、子どもたちそれぞれが絵本の世界を体験できる「おはなし会」となりました。そして、今年も最後に鬼北町のゆるキャラ「きじの助」がサンタに扮して登場。参加した子どもたちは、満面の笑みでプレゼントを受け取っていました。

特産品のゆずを使った料理に挑戦



郷土料理の付加価値向上を

◎第1回心と身体にやさしいおもてなし料理講座

「第1回心と身体にやさしいおもてなし料理講座」は12月17日、中央公民館で行われ、26名が参加しました。郷土料理に付加価値を加え、食による起業化を支援することを目指すとして開催されたこの料理講座。薬膳料理研究家の新倉久美子さんが、「五行配当表」を使って季節によって弱りやすい臓器やそれに対応する食材について説明すると、参加した人たちは熱心にメモを取っていました。また、調理実習では、「お雑煮」や「ゆず飯」など8品を調理。試食をしながら、それぞれの効能についての知識を深めました。

細かい作業も慎重にこなす児童



完成！個性光る自分だけの土鈴

◎近永児童クラブ土鈴づくり体験

12月27日、わかば作業所で土鈴づくり体験が行われ、近永児童クラブの子どもたちが参加しました。平成26年の干支である馬をかたどった白い土鈴に、シールや絵の具を使って、思い思いに色鮮やかな模様を描く子どもたち。細かい作業を行う子どもたちの目は真剣そのもので、時折わかば作業所の職員に手伝ってもらいながら、自分だけの個性溢れる土鈴を完成させました。完成したこの世にたった一つの土鈴を手に、子どもたちは満足そうな表情を浮かべていました。

愛治ちんどんクラブが会場を盛り上げる



年の瀬に集う、たくさんの笑顔

◎道の駅森の三角ぼうし・年末謝恩市2013

12月22日、道の駅・森の三角ぼうしで「年末謝恩市2013」が行われました。この日は、きじ汁、うどんやコロッケなど、町内外からさまざまな店舗が出店。訪れた人たちの舌を楽しませました。さらに今年は「餅バイキング」が初お目見え。毎年好評の杵つき餅の実演販売とともに、大勢の来場者で賑わいました。また、愛治ちんどんクラブが生演奏を披露すると、その周りには大勢の人だかり。その華やかな演奏が、年の瀬のイベントを大いに盛り上げました。